

教 育 委 員 会 だ よ り

町内に転入した教職員 町内産業・文化財施設を見学

平成29年度、上ノ国町に転入した教職員を対象とした町内視察研修を4月26日に開催し、16名が参加しました。

この研修は、本町の特色を学び、今後の教育に役立てていただくために企画されたものです。

はじめに、本町の教育の特徴を学んだ上で、町栽培漁業総合センターを訪問し、アワビの中間育成の様子やアサリ貝、エゾバカ貝の種苗生産の取り組みにつ

いて見学をしました。このうち、アワビの中間育成では、夜行性であるアワビの特性に配慮して水槽内にシエルターを設置している

ことなどが説明されると感心しながら聞き入っていました。

次に、勝山館跡などの文化財施設を訪問。重要文化



栽培漁業総合センターでアワビの中間育成の様子を見学



旧浪家住宅では、実際に座り、昔の生活を体感

財上國寺では、本堂が建築された11年後の明和6年（1769）の姿に限りなく近い形で復元されており、職人の精巧な技術力に驚いていたようでした。また、重要文化財旧浪家住宅では、いろいろを囲み、建物の歴史や当時の生活の様子について学びました。



学芸員の案内で上國寺本堂内部を見学

読みきかせを満喫 えほんのひろば開かれる



人形劇を披露する「ももも」のメンバー

5月17日、子ども読書週間にあわせ「えほんのひろば」をジョイ・じょうらで開催し、保育園児や小学生など約70名が参加し楽しい時間をすごしました。

これは読み聞かせのサークル「ももも」の皆さんが企画したもので、開催にあたり何度も集まって、練習していました。

ハンドベルの演奏から始まり、大型絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、最後には、人形劇「金の斧、銀の斧」で大いに盛り上がりしました。絵本のページがめくられるたびに子どもたちから笑い声や歓声が上が

り、絵本の世界に引き込まれていました。

子どもたちは口々に「面白かった」「楽しかった」「もつと聞きたかった」と絶賛し、サークルの皆さんの安心した表情の中にも、次への思いや意欲が感じられました。

今後は秋の読書週間に併せて11月15日に2回目の「えほんのひろば」を開催する予定をしていますので、多くの参加者をおまちしております。

絵本の世界を通して、様々な文化や人の気持ちや思い、感動などに触れながら楽しいひとときを過ごしましょう。



絵本の読み聞かせに見入る園児たち